

【入選】

助けあい、励ましあい、高めあっていく

大津町立大津北中学校 1年 馬場 颯汰

前期前半、集団宿泊教室や授業の中でクラスミーティングをしました。僕はこのクラスミーティングを通して、たくさんのかんじたり、かんがえたりしました。そして、三つのことを学びました。

一つ目は、いろいろな人の家庭環境です。親が離婚していて、お父さんがいないということを発表してくれた人がいました。僕は、いつも明るくて、みんなを楽しませたり笑わせたりしてくれる友だちが、家ではお父さんがいなくてさみしい思いをしていることを知り、驚きました。でもその友だちは、クラスみんなのことを信頼しているからこそ、このようなことを言ってくれたんだと思います。僕も、もっと友だちやクラスみんなのことを信頼して、もっと仲良くなりたいです。

二つ目は、友だちが持つ障がいのことです。僕たちのクラスには、難聴の友だちが二人います。彼らはいつも補聴器をつけて生活していて、僕たちも授業や朝の会・帰りの会などで発表するときには、ダイナマイクを使って、自分たちの声が直接彼らの補聴器に伝わるようにしています。それは、僕たちのクラスにとって当たり前のことです。生まれつき難聴だと教えてくれた彼は、自分が難聴だからとみんなが気を遣ってくれているようで、みんなに悪いと言っていました。でも、僕を含め、みんなが彼の人が好きで、難聴だからと気を遣っているわけではないことを彼に伝えました。

三つ目は、クラス全体のことです。僕は、授業中の私語があつたり、メリハリがついていなかったり、自分がクラスで気になっていることを発表しました。他の人たちも同じように気になっていたことが分かり、僕だけじゃないんだなと思いました。でも、自分で言いながら、僕も私語が多いのです。だから、まずは自分が私語をやめたり、メリハリをしっかりつけたりして、自分からみんなに広げていけるように頑張ります。

友だちの発表を聞いて、友だちのことをより知ることができました。自分の気持ちも聞いてもらえて、みんなも同じ思いだと分かって安心しました。クラスミーティングを通して感じたことや考えたこと、学んだことを大切にしながら、これからも、みんなと助けあい、励ましあい、みんなと高めあっていきたいです。